

◎円借款の供与に関する日本国政府と中華人民共和国政府との間の交換公文

(略称) 中国との円借款取極

平成 十四年 三月二十九日 北京で
平成 十四年 三月二十九日 効力発生
平成 十四年 八月 十六日 告示

(外務省告示第三五〇号)

目次	ページ
日本側書簡	
1 円借款の供与	
2 借款契約の締結及び借款の条件	
3 借款の対象	
4 生産物又は役務の調達	
5 借款、利子等の免税	
6 日本国民の入国及び滞在に対する便宜供与	
7 生産物の海上輸送及び海上保険	
8 借款の適正使用等	
9 事業計画の進捗状況についての情報の提供	
10 協議	

中国との円借款取極

中国との円借款取極

付表	
中国側書簡	
○解釈正文に関する書簡	
日本側書簡	
中国側書簡	

日本側書簡

円借款の供与

借款契約の締結及び借款の条件

(円借款の供与に関する日本国政府と中華人民共和国政府との間の交換公文)

(日本側書簡)

書簡をもって啓上いたします。本使は、中華人民共和国の経済の安定に寄与し経済近代化努力を促進することを目的として供与される日本国の借款に關して日本国政府の代表者と中華人民共和国政府の代表者との間で最近到達した次の了解を確認する光榮を有します。

1 千六百十三億六千六百万円（一六、三六六、〇〇〇、〇〇〇円）の額までの円貨による借款（以下「借款」という）が、この書簡に附屬する表（以下「付表」という）に掲げる事業計画を実施するため、各事業計画につき付表に定める配分に応じ、國際協力銀行（以下「銀行」という）により、日本国の關係法令に従つて、中華人民共和国政府に供与されることになる。中華人民共和国財政部（以下「財政部」という）は、中華人民共和国政府により、中華人民共和国政府に代わつて、借款を受け入れ及び銀行との間で借款契約に署名する権限を与えられる。

2 (1) 借款は、財政部と銀行との間で締結される借款契約に基づいて使用に供される。借款の条件及び使用に關する手続は、なかななく次の原則を含むことになる前記の借款契約によつて規制される。

- (a) (i) 償還期間は、十年の据置期間の後二十年とする。
- (ii) 利子率は、年二・二パーセントとする。
- (b) ただし、(a)にもかかわらず、借款の一部が付表の1及び2に掲げる事業計画の環境関連部分に対して行う支払のために使用される場合には、当該部分に係る利子率は、年一・七パーセントとする。
- (c) ただし、(a)及び(b)にもかかわらず、借款の一部が付表の3、4、5、6及び7に掲げる公害対策関連事業計画に対して行う支払のために使用される場合、付表の1及び2に掲げる事業計画の公害対策関連部分に対して行う支払のために使用される場合、付表の8、9、10、11、12及び13に掲げる人材育成関連事業計画に対して行う支払のために使用される場合並びに付表の3、4、5、7、14及び15に掲げる事業計画のコンサルタントに対して行う支払のために使用される場合には、
 - (i) 当該部分に係る償還期間は、十年の据置期間の後三十年とする。
 - (ii) 当該部分に係る利子率は、年〇・七五パーセントとする。
- (d) 支出期間は、關係借款契約の発効の日から、付表の7に掲げる事業計画については十年、付表の5に掲げる事業計画については八年、付表の3、6及び15に掲げる事業計画については七年、付表の2

中国との円借款取極

借款の対
象
生産物又
は役務の
調達
借款、利
子等の免
税
日本国民
の入国及
び滞在に
対する便
宜供与
生産物の
海上輸送
及び海上
保険
借款の適
正使用等
事業計画

中国との円借款取極

- 及び14に掲げる事業計画については六年並びに付表の1、4、8、9、10、11、12及び13に掲げる事業計画については五年とする。
- (2) (1)にいう借款契約の各々は、銀行が当該借款契約に係る事業計画の実行可能性（環境に対する配慮を含む）を確認した後に締結される。
- (3) (1)(d)にいうそれぞれの支出期間は、両政府の関係当局の同意を得て延長することができる。
- 3 (1) 借款は、中国の実施機関が調達適格国の供給者、請負業者又はコンサルタントに対して行う支払で、付表に掲げる事業計画の実施に必要な生産物又は役務の購入のために両者の間で締結されることのある契約に基づいて行われるものを対象として使用に供される。ただし、当該購入は、調達適格国において、それらの国で生産される生産物又はそれらの国から供給される役務について行われる。
- (2) (1)にいう調達適格国の範囲は、両政府の関係当局間で合意される。
- (3) 借款の一部は、付表の6に掲げる事業計画の実施のための適格な現地通貨の需要に充てるために使用することができる。
- 4 中華人民共和国政府は、3(1)にいう生産物又は役務が銀行の調達のためのガイドライン（国際入札の手続が適用できないか又は適当でない場合を除くほか従うべき国際入札の手続をなканずく定める。）に従って調達されるような必要な措置をとる。
- 5 中華人民共和国政府は、次のものを免除する。
- (1) 銀行について、借款及びそれから生ずる利子に対して又はそれらに関連して課される中国の財政課徴金及び租税
- (2) 請負業者又はコンサルタントとして活動する日本国の会社について、付表に掲げる事業計画の実施に必要な自己の建設機材の搬入及び搬出に関して課される中国の関税及び関連の財政課徴金
- 6 3(1)にいう生産物又は役務の供給に関連して中華人民共和国においてその役務が必要とされる日本国民は、作業の遂行のため中華人民共和国への入国及び同国における滞在に必要な便宜を与えられる。
- 7 中華人民共和国政府は、借款に基づいて購入される生産物の海上輸送及び海上保険に関し、海運会社及び海上保険会社との間の公正かつ自由な競争を妨げることのあるいかなる制限も課さない。
- 8 中華人民共和国政府は、次のことを確保するために必要な措置をとる。
- (1) 借款が適正にかつ専ら付表に掲げる事業計画のために使用されること。
- (2) 借款に基づいて建設される施設がこの了解に定める目的のために適正にかつ効果的に維持され及び使

の進捗状況
についての情報
の提供
協議

用されること。

9 中華人民共和国政府は、要請に応じ、日本国政府に対し、付表に掲げる事業計画の進捗状況についての情報を提供する。

10 両政府は、共同して借款の実施の進捗状況を随時検討し、借款の円滑かつ効果的な使用を確保するために必要な措置をとり、また、前記の了解から又はそれに関連して生ずることのあるいかなる事項についても相互に協議する。

本使は、閣下が前記の了解を中華人民共和国政府に代わって確認されれば幸いです。

本使は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かって敬意を表します。

二千二年三月二十九日に北京で

中華人民共和国駐在

日本国特命全權大使 阿南惟茂

中華人民共和国

外交部副部長 王毅閣下

中国との円借款取極

中国との円借款取極

付表

付表

(限度額)

1	陝西省西安市環境整備計画	九十七億六千四百万円
2	遼寧省鞍山市総合環境整備計画	百四十五億二千五百万円
3	山西省太原市総合環境整備計画	百四十一億四千四百万円
4	重慶市環境整備計画	九十億七千万円
5	北京市環境整備計画	八十九億六千三百万円
6	寧夏回族自治区植林植草計画	七十九億七千七百万円
7	山西省西龍池揚水発電所建設計画	二百三十二億四千百万円
8	陝西省人材育成計画	六十億二千万円
9	甘肅省人材育成計画	四十六億六千五百万円
10	四川省人材育成計画	六十一億三千百万円
11	重慶市人材育成計画	四十六億八千三百万円
12	雲南省人材育成計画	四十五億四千万円
13	湖南省人材育成計画	四十六億八千二百万円
14	甘肅省地方道路整備計画	二百億千三百万円
15	湖南省地方道路整備計画	二百三十億円
総額		千六百十三億六千六百万円

中国側書簡

(訳文)

書簡をもって啓上いたします。本官は、本日付けの閣下の次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。

(中国側書簡)

(日本側書簡)

(中方照会)

日本国駐中華人民共和國特命全權大使阿南惟茂先生閣下

閣下：

我謹收到閣下今日的照会，内容如下：

“我谨确认，日本国政府代表和中华人民共和国政府代表，最近就有关旨在增进中华人民共和国经济稳定和促进经济现代化的努力而提供的日本国贷款，达成如下谅解：

一、根据日本国的有关法律和规章，日本国际协力银行（以下简称“银行”），将向中华人民共和国政府提供不超过一千六百一十三亿六千六百万日元（¥161,366,000,000）数额的日元贷款（以下简称“贷款”），以便按照所附项目表（以下简称“项目表”）规定的每个项目的金额实施项目表开列的各个项目，中华人民共和国政府授权中华人民共和国财政部（以下简称“财政部”）代表中华人民共和国政府接受“贷款”，并与“银行”签订贷款协议。

二、（一）“贷款”将根据“财政部”和“银行”所签订的贷款协议予以提供。“贷款”的条件及其使用程序将受上述贷款协议的制约。这些协议将特别包括以下原则：

- （1）偿还期为十（10）年宽限期之后的二十（20）年；
- （2）年利率为百分之二点二（2.2%）；
- 2、尽管有上述1的规定，项目表中提到的第1和第2项目中部分贷款用于环境部分的支付时，该部分的年利率为百分之一点七（1.7%）；
- 3、尽管有上述1和2的规定，部分贷款用于项目表中提到的第3、4、5、6和7公害对策有关项目的支付时，项目表中提到的第1和第2项目中用于公害对策的支付时，项目表中提到的第8、9、10、11、12和13项目中用于人材培养有关项目的支付时以及项目表中提到的第3、4、5、7、14和15项目中用于顾问的支付时：
- （1）该部分的偿还期为十（10）年宽限期之后的三十（30）年；

中国との円借款取極

(2) 该部分的年利率为百分之零点七五 (0.75%) ; 和

4、项目表中提到的第7项目的支付期为从有关贷款协议生效之日起十 (10) 年, 项目表中提到的第5项目的支付期为从有关贷款协议生效之日起八 (8) 年, 项目表中提到的第3、6和15项目的支付期为从有关贷款协议生效之日起七 (7) 年, 项目表中提到的第2和14项目的支付期为从有关贷款协议生效之日起六 (6) 年, 项目表中提到的第1、4、8、9、10、11、12和13项目的支付期为从有关贷款协议生效之日起五 (5) 年。

(二) 上述第 (一) 项中提到的各项贷款协议, 将在 “银行” 对同贷款协议有关的项目认为实际可行 (包括对环境的考虑) 后, 予以缔结。

(三) 上述第 (一) 项第4目提到的支付期, 经两国政府有关当局同意可予延长。

三、(一) “贷款” 将为中国的执行机构根据他们同有资格来源国的供应厂商、承包商和 (或) 顾问为了实施项目表中提到的项目所需要购买产品和 (或) 服务而可能签订的合同, 向这些厂商、承包商和 (或) 顾问已经支付或将支付而提供, 但此项购买是以在有资格来源国里为采购该国生产的产品, 和 (或) 从这些国家提供服务者为限。

(二) 上述第 (一) 项提到的有资格来源国的范围将由两国政府的有关当局达成协议。

(三) 部分贷款可用来解决实施项目表中第6项目的符合条件的内币需求。

四、中华人民共和国政府将采取必要措施, 按照 “银行” 关于采购的指导原则购得上述第三款第 (一) 项提到的产品和 (或) 服务。这些原则特别规定了应予遵循的国际投标手续, 但不能适用或不适合者除外。

五、中华人民共和国政府将免除:

(一) “银行” 对关于 “贷款” 和 (或) 由此产生的利息而由中国征收的财政税捐和税款; 和

(二) 作为承包商和 (或) 顾问的日本国公司, 为实施项目表中提到的项目需要带入和带出他们自备的施工设备, 而由中国征收的关税和有关的财政收费。

六、根据上述第三款第 (一) 项提到的有关供应产品和 (或) 提供服务而需在中华人民共和国工作的日本国国民, 为执行其工作而进入和在中华人民共和国居留, 将给予必要方便。

七、关于根据 “贷款” 购买的产品的海上运输以及海上保险问题, 中华人民共和国政府对海上运输公司以及海上保险公司之间的公平自由的竞争不设任何限制。

八、中华人民共和国政府将采取必要措施以确保:

(一) “贷款” 的使用仅限于适当实施项目表中提到的各个项目; 和

(二) 按照这项谅解所述的目的, 适当而有效地维持和使用根据 “贷款” 建设的设施。

九、中华人民共和国政府将根据请求, 向日本政府提供在项目表中提到的项目的有关进展情况的 消息。

十、两国政府将随时共同检查 “贷款” 的实施进展情况, 以及采取必要的措施, 以确保 “贷款” 的顺利和有效的使用, 并就上述谅解可能产生的任何问题或者有关事项另外进行相互磋商。

如蒙阁下代表中华人民共和国政府确认以上谅解, 我将不胜感激。

我谨代表中华人民共和国政府确认阁下照会中提出的谅解。

顺致最崇高的敬意。

中华人民共和国外交部副部长

王 毅

二〇〇二年三月二十九日于北京

本官は、更に、閣下の書簡に述べられた了解を中華人民共和国政府に代わって確認する光栄を有します。本官は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かつて敬意を表します。

二千年三月二十九日に北京で

中華人民共和国

外交部副部長 王毅

中華人民共和国駐在

日本国特命全權大使 阿南惟茂閣下

中国との円借款取極

中国との円借款取極

項 目 表

		(限 額)
1、	陕西省西安市环境治理项目	九十七亿六千四百万元日元
2、	辽宁省鞍山市环境综合治理项目	一百四十五亿二千五百万元日元
3、	山西省太原市环境综合治理项目	一百四十一亿四千四百万元日元
4、	重庆市环境治理项目	九十亿一千七百万日元
5、	北京市环境治理项目	八十九亿六千三百万元日元
6、	宁夏回族自治区植树造林项目	七十九亿七千七百万日元
7、	山西省西龙池抽水蓄能电站项目	二百三十二亿四千一百万元日元
8、	陕西省人材培养项目	六十亿二千一百万元日元
9、	甘肃省人材培养项目	四十六亿六千五百万元日元
10、	四川省人材培养项目	六十一亿三千一百万元日元
11、	重庆市人材培养项目	四十六亿八千三百万元日元
12、	云南省人材培养项目	四十五亿四千万元日元
13、	湖南省人材培养项目	四十六亿八千二百万元日元
14、	甘肃省公路项目	二百亿一千三百万元日元
15、	湖南省公路项目	二百三十亿日元
总 額		一千六百一十三亿六千六百万日元

日本側書簡

(解釈正文に関する書簡)

(日本側書簡)

書簡をもって啓上いたします。本使は、中華人民共和国の経済の安定に寄与し経済近代化努力を促進することを目的として供与される日本国の借款に関する本日付けの交換公文に関し、日本語、中国語及び英語により作成された同交換公文の解釈に相違がある場合には英語の本文によるものとすることを日本国政府に代わって提案する光栄を有します。

本使は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かって敬意を表します。

二千二年三月二十九日に北京で

中華人民共和国駐在

日本国特命全權大使 阿南惟茂

中華人民共和国

外交部副部長 王毅閣下

中国との円借款取極

中国との円借款取極

(中国側書簡)

(訳文)

中国側書簡

書簡をもって啓上いたします。本官は、本日付けの閣下の次の書簡を受領したことを確認する光榮を有します。

(日本側書簡)

本官は、更に、中華人民共和国政府に代わって、閣下の書簡に述べられた提案に同意する光榮を有します。

本官は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かって敬意を表します。

二千二年三月二十九日に北京で

中華人民共和国

外交部副部長 王毅

中華人民共和国駐在

日本国特命全權大使 阿南惟茂閣下

(中方照会)

日本国駐中華人民共和国特命全權大使阿南惟茂先生閣下

閣下：

我謹收到閣下今日の来照、内容如下：

“我謹就今天在增进中华人民共和国经济稳定和促进经济现代化的努力而提供的日本国贷款的换文、代表日本国政府建议：上述用日文、中文和英文写成的换文、如果在解释上发生分歧，应以英文本为准。”

我謹代表中华人民共和国政府同意阁下来照中提出的建议。

顺致最崇高的敬意。

中华人民共和国外交部副部长

王毅

二〇〇二年三月二十九日于北京

(Japanese Note)

Beijing, March 29, 2002

Excellency,

I have the honour to confirm the following understanding recently reached between the representatives of the Government of Japan and of the Government of the People's Republic of China concerning a Japanese loan to be extended with a view to contributing to the economic stabilization and promoting the economic modernization efforts of the People's Republic of China:

1. A loan in Japanese yen up to the amount of one hundred sixty-one billion three hundred and sixty-six million yen (#161,366,000,000) (hereinafter referred to as "the loan") will be extended, in accordance with the relevant laws and regulations of Japan, to the Government of the People's Republic of China by Japan Bank for International Cooperation (hereinafter referred to as "the Bank") to implement the projects enumerated in the list attached hereto (hereinafter referred to as "the list"), according to the allocation for each project as specified in the list. The Ministry of Finance of the People's Republic of China (hereinafter referred to as "the Ministry") is authorized by the Government of the People's Republic of China to accept the loan and sign the loan agreements with the Bank on behalf of the Government of the People's Republic of China.

2. (1) The loan will be made available by loan agreements to be concluded between the Ministry and the Bank. The terms and conditions of the loan as well as the procedures for its utilization will be governed by the said loan agreements which will contain, *inter alia*, the following principles:

- (a) (i) The repayment period will be twenty (20) years after the grace period of ten (10) years;
- (ii) The rate of interest will be two and two-tenths per cent (2.2%) per annum;
- (b) Notwithstanding sub-paragraph (a) above, where a part of the loan is made available to cover payments to environmental portions of the projects mentioned in 1 and 2 of the list, then the rate of interest of the said part will be one and seven-tenths per cent (1.7%)

中国との円借款取極

per annum;

(c) Notwithstanding sub-paragraphs (a) and (b) above, where a part of the loan is made available to cover payments to anti-pollution projects mentioned in 3, 4, 5, 6 and 7 of the list, to anti-pollution portions of the projects mentioned in 1 and 2 of the list, to human resource development projects mentioned in 8, 9, 10, 11, 12 and 13 of the list and to consultants of the projects mentioned in 3, 4, 5, 7, 14 and 15 of the list, then:

- (i) the repayment period of the said part will be thirty (30) years after the grace period of ten (10) years;
- (ii) the rate of interest of the said part will be seventy-five-hundredths per cent (0.75%) per annum; and
- (d) The disbursement period will be ten (10) years with regard to the project mentioned in 7 of the list, eight (8) years with regard to the project mentioned in 5 of the list, seven (7) years with regard to the projects mentioned in 3, 6 and 15 of the list, six (6) years with regard to the projects mentioned in 2 and 14 of the list, and five (5) years with regard to the projects mentioned in 1, 4, 8, 9, 10, 11, 12 and 13 of the list from the dates of coming into force of the relevant loan agreements.
- (2) Each of the loan agreements mentioned in sub-paragraph (1) above will be concluded after the Bank is satisfied of the feasibility, including environmental consideration, of the project to which such loan agreement relates.
- (3) The respective disbursement periods mentioned in sub-paragraph (1)(d) above may be extended with the consent of the authorities concerned of the two Governments.
- 3. (1) The loan will be made available to cover payments to be made by Chinese executing agencies to suppliers, contractors and/or consultants of eligible source countries under such contracts as may be entered into between them for purchases of products and/or services required for the implementation of the projects enumerated in the list, provided that such purchases are made in such eligible source countries for products produced in and/or services supplied from those countries.

中国の田借款取極

(2) The scope of eligible source countries mentioned in sub-paragraph (1) above will be agreed upon between the authorities concerned of the two Governments.

(3) A part of the loan may be used to cover eligible local currency requirements for the implementation of the project mentioned in 6 of the List.

4. The Government of the People's Republic of China will take necessary measures for the products and/or services mentioned in sub-paragraph (1) of paragraph 3 to be procured in accordance with the guidelines for procurement of the Bank, which set forth, inter alia, the procedures of international tendering to be followed except where such procedures are inapplicable or inappropriate.

5. The Government of the People's Republic of China will exempt:

(1) the Bank from Chinese fiscal levies and taxes imposed on and/or in connection with the loan as well as interest accruing therefrom; and

(2) Japanese companies operating as contractors and/or consultants from Chinese duties and related fiscal charges imposed with respect to the bringing-in and bringing-out of their own construction equipment needed for the implementation of the projects enumerated in the List.

6. Japanese nationals whose services may be required in the People's Republic of China in connection with the supply of the products and/or services mentioned in sub-paragraph (1) of paragraph 3 above will be accorded such facilities as may be necessary for their entry into the People's Republic of China and stay therein for the performance of their work.

7. With regard to the shipping and marine insurance of products purchased under the loan, the Government of the People's Republic of China will refrain from imposing any restrictions that may hinder fair and free competition among the shipping and marine insurance companies.

8. The Government of the People's Republic of China will take necessary measures to ensure that:

(1) the loan be used properly and exclusively for the projects enumerated in the List; and

(2) the facilities constructed under the loan be

maintained and used properly and effectively for the purposes prescribed in this understanding.

9. The Government of the People's Republic of China will, upon request, furnish the Government of Japan with information on the progress of the projects enumerated in the List.

10. The two Governments will jointly review from time to time the progress of the implementation of the loan and take measures necessary to secure smooth and effective utilization of the loan and otherwise consult with each other in respect of any matter that may arise from or in connection with the foregoing understanding.

I should be grateful if Your Excellency would confirm the foregoing understanding on behalf of the Government of the People's Republic of China.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(Signed) Koreshige Anami
Ambassador Extraordinary
and Plenipotentiary of Japan
to the People's Republic
of China

His Excellency
Mr. Wang Yi
Vice-Minister of Foreign Affairs
of the People's Republic
of China

List		(Maximum amount in million yen)	(Chinese Note)
			Beijing, March 29, 2002
			Excellency,
			I have the honour to acknowledge the receipt of Your Excellency's Note of today's date, which reads as follows:
			"(Japanese Note)"
			I have further the honour to confirm on behalf of the Government of the People's Republic of China the understanding set forth in Your Excellency's Note.
			I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.
1.	Shaanxi Xi'an Environmental Improvement Project	9,764	(Signed) Wang Yi Vice-Minister of Foreign Affairs of the People's Republic of China His Excellency Mr. Koresihige Anami Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of Japan to the People's Republic of China
2.	Liaoning Anshan Environmental Improvement Project	14,525	
3.	Shanxi Taiyuan Environmental Improvement Project	14,144	
4.	Chongqing Environmental Improvement Project	9,017	
5.	Beijing Environmental Improvement Project	8,963	
6.	Ningxia Afforestation and Vegetation Cover Project	7,977	
7.	Shanxi Xilongchi Pumped Storage Power Station Project	23,241	
8.	Shaanxi Higher Education Project	6,021	
9.	Gansu Higher Education Project	4,665	
10.	Sichuan Higher Education Project	6,131	
11.	Chongqing Higher Education Project	4,683	
12.	Yunnan Higher Education Project	4,540	
13.	Hunan Higher Education Project	4,682	
14.	Gansu Road Project	20,013	
15.	Hunan Road Project	23,000	
Total		161,366	

中国との円借款取極

中国との円借款取極

(Japanese Note)

Beijing, March 29, 2002

Excellency,

With reference to the Exchange of Notes dated today concerning a Japanese loan to be extended with a view to contributing to the economic stabilization and promoting the economic modernization efforts of the People's Republic of China, I have the honour to propose, on behalf of the Government of Japan, that in case there is any divergence of interpretation of the said Exchange of Notes which is done in the Japanese, Chinese and English languages, the English text shall prevail.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(Signed) Koresbige Anami
Ambassador Extraordinary
and Plenipotentiary of Japan
to the People's Republic
of China

His Excellency
Mr. Wang Yi
Vice-Minister of Foreign Affairs
of the People's Republic
of China

(Chinese Note)

Beijing, March 29, 2002

Excellency,

I have the honour to acknowledge the receipt of Your Excellency's Note of today's date, which reads as follows:

"(Japanese Note)"

I have further the honour to express agreement, on behalf of the Government of the People's Republic of China, to the proposal put forward in Your Excellency's Note.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(Signed) Wang Yi
Vice-Minister of Foreign Affairs
of the People's Republic
of China

His Excellency
Mr. Koresbige Anami
Ambassador Extraordinary
and Plenipotentiary of Japan
to the People's Republic
of China

(参考)

この取極は、国際協力銀行が中国政府に対し、千六百十三億六千六百万円までの円借款を供与することについての両政府の了解を確認したものである。

中国との円借款取極